

はまだ議会だより mini

浜田郷土資料館の現地視察

10月21日に浜田郷土資料館の現状を知るために視察に伺いました。議会としても関心が高く委員外議員も多く参加しました。

資料館の経緯を振り返ると、昭和59年旧浜田社会保険事務所を取得後に改修し、浜田市郷土資料館を開館。収蔵資料は現在約12,500点に増え、郷土資料館に収まらず、市内に分散して保存されています。今年で62年目を迎え躯体の老朽化に伴う雨漏り、床や壁の亀裂などにより修繕が繰り返されるといった現状です。展示資料は初めて実物を拝見する物もあり、とても興味深いのですが、

通路や収納庫が狭いといった声が委員から上がる状況でした。大事な資料を展示保存する施設としては心もとない印象を受けましたが、市民の皆さんはどう思われるのか、ぜひ資料館に訪問して意見をお聞かせください。（総務文教委員会）



浜田港福井第2上屋が竣工

11月20日に竣工式に参加しました。近年、取扱いコンテナ個数の増加に伴い、第1上屋だけでは保管する場所が手狭になり、品質管理を行うためには新たな上屋が必要であると浜田港振興会から知事へ要望活動を行い、県内唯一の貿易港として機能強化を図ることを目的に、延べ面積2,000㎡、総工費7億8,600万円をかけ実現しました。今後

も、浜田港の重要課題である大型船舶に対応した港湾整備がさらに進むことが期待されます。（産業建設委員会）



議員のつぶやき

行政視察を神楽で歓迎



日本遺産登録以降、石見神楽が注目されています。他議会が行政視察に来られた際、市役所5階ロビーにて、市職員と議員による「恵比須」でお出迎えし、PRを行いました。写真は10月にお越しの山形県鶴岡市議会の皆さんです。（川神裕司）

議長 11/18 全国市議会議長会特定 日誌 第三種漁港協議会 臨時総会

令和3年、4年度の2年間、会長を務めます。コロナ禍で活動が難しい場面もありましたが、東京での臨時総会を3年ぶりに開催することができ、役員改選などの議案が可決されました。総会終了後は、関係省庁への陳情活動や講演会も行いました。

